



おおがたチャレンジフェスタ

押し花や木の実を使った小物作りやニューススポーツなど、子どもたちがさまざまなことを体験できるイベントが大潟区で開催されました。大潟町中学校のブースでは、中学生たちに教えられながら作ったオリジナル缶バッジに、子どもたちが目を輝かせていました。(11/26)

イルカの造形美「シュプリングン - 飛翔 宮田亮平の世界展」

うみがたり開館5周年と小林古径生誕140年を記念し、今年度文化功労者に選ばれた金工作家・宮田亮平さんによるイルカをモチーフにした作品と古径の作品が、うみがたりと小林古径記念美術館で相互展示されました。来館者はイルカや魚たちと芸術作品との“共演”を楽しんでいました。(10/21~11/19)



共生ステージ「華響」

さまざまな団体が共演し1つの物語を紡ぐステージ「華響」が、はーとぴあ中郷で開催されました。プロジェクションマッピングの映像を背景に、バレエやダンス、歌、演奏で「共生」を表現したステージに、観客からの拍手が鳴り止みませんでした。(11/25)



国際理解セミナー「アジアから世界を知る! フィリピン編」

フィリピン人が多く住む頸城区で、フィリピンの特色を紹介するセミナーが開催されました。参加者は、新潟フィリピン協会会長による講演会や食・ゲームを通じて、フィリピンの文化や魅力に触れながら学び、互いに交流を深めていました。(11/18)



「上越市教育の日」 「上越市教育を考える市民の月間」 制定10周年 記念講演会

東京大学名誉教授の汐見稔幸さんによる講演を約300人が聴講しました。汐見さんは「環境問題をはじめ、答えが見つからない問題が山積する社会でも、子どもたちが各場面で最適な解を導き出せるよう、自ら学び、探求する力を育てていきましょう」と話しました。(11/16)



在日オーストラリア大使館による講演会

上越市とオーストラリア・カウラ市との「平和友好交流意向書」調印から20年を記念し、在日オーストラリア大使館広報・文化担当参事官のトム・ウィルソンさんが、人と人がつながることの大切さについて講演しました。(11/18)



市政トピックス

新潟県・上越市合同除雪出動式 上越市除雪功労者表彰式 11/15



県管理道路と市道の除雪業者118社が一堂に会し、互いの連携を確認するとともに今冬の安全作業の決意を新たにする「除雪出動式」が上越文化会館で行われました。

また、出動式に合わせて、長年にわたり市道の冬季道路交通の確保に尽力し、市民の安全安心を守ってきた除雪従事者6人を表彰しました。

上越市脱炭素経済ネットワーク 発足式 11/28



上越市における脱炭素社会の実現に向けた情報共有や連携・協力体制を構築するため、行政や事業者など19の団体で構成する「上越市脱炭素経済ネットワーク」が発足しました。

発足式に引き続き構成団体による勉強会も開催され、市や県のほか、直江津港に立地するエネルギー事業者による取り組みについて紹介がありました。



うみがたりカレッジ出張講座 おかえりサーモン

うみがたりによる「サケの遡上観察会」が桑取川で開催されました。参加者は桑取川漁業協同組合の伝統的な投網漁を見学した後、サケの生態や環境問題との関係について説明を受けながら、自分たちにできることを考えていました。(11/18)